

あやめ池通信

～やさしい笑顔があふれ、一人一人が輝く学校～

第 74 号

令和2年 2月25日

奈良市立あやめ池小学校

文責 西 浦 克 博

歩みを振り返って次につなぐ営みを

「光の春」ということばが、今の時候を表すそうです。日増しに、光の明るさ・強さと昼の長さの伸びてきたことが感じられます。

年度の終わりに近づいて、学校はまとめの時期を迎えています。子どもたちは、一年間で身につけた学力を確かめ、不得意だったところの復習をしたり、追究活動を続けてきた自分の成長の確かめをしたりしています。

先日の体験入学では、1年生の子どもたちが、はりきって園児のお世話をしている姿が見られました。4月からの成長が、はっきりと目に見える形で現れていました。他の学年も、「自分の考えをもてるようになった」「恥ずかしがらずに発表できるようになった」「相手の気持ちを考えて行動できるようになった」といった成長の様子が見られます。

一年の区切りを迎え、自分で自分のことをしっかり見つめ直すことは次へのステップのためにとても重要です。そのための支援をしっかり行っていききたいと思います。



子どもたちの成長やがんばりをお届けできたでしょうか？

2月4日の4年生から18日の6年生まで、今年度最後の学習参観と懇談会を行いました。各学年、そして学級では、一年間の学習のまとめとなるように学習内容を工夫して、できるだけ子どもたちの成長やがんばりを感じていただけるように取り組みましたが、いかがだったでしょうか。また、学級懇談会にもたくさんご出席いただきありがとうございました。今年度も残り少なくなりましたが、これからも子どもたちの成長とがんばりを支援し、進学・進級に向けての準備に取り組みたいと思います。



保護者アンケート結果のお知らせ(その3)

- ⑥児童の「みんなに気持ちの良いあいさつ」は80%(1ポイント減)ができていたという回答でした。本年度も、企画委員会の児童や教職員が朝のあいさつ運動を行ってきました。また、全校朝礼では、今月のがんばるめあてとして進んであいさつをすることを児童に繰り返し呼びかけてまいりました。また、学級活動や道徳の時間においても指導を重ねています。あいさつはお互いが気持ちよく明るく生活する基本ととらえ、家庭や地域と連携し、自ら進んであいさつができる児童をこれからも育てていきたいと思ひます。また、児童アンケートで特に否定的な回答が多かった設問は『自分の考えを発表している』の37(2ポイント増)%でしたが、『困ったときに相談できる友だちや先生がいる』という設問も11(2ポイント増)%が否定的な回答でした。このことにつきましては、さらに児童と教職員の心開いた関係づくりに一層努力してまいりたいと思ひます。
- ⑦【緊急時の対応】「学校は、安全への対応がなされ、安全確保に努めている」の設問については90%(1ポイント減)、【学校からの情報発信】「学校は、学校の便りやホームページ等を通して、教育活動を積極的に伝えている」の設問については96%(1ポイント減)が肯定的評価でした。今年度は、幸いにも校区内での不審な人物による事案の発生はありませんでしたが、今後も校区内もしくは中学校区内で発生した不審者事案については速やかにサポートネットの配信を通してお知らせし、より速やかな情報の共有に努めてまいります。また、今年度も学校だよりを月2回、そして学校ホームページは毎日更新することを心がけ取り組んでまいりました。これからも、保護者や地域の皆さまに学校の教育活動や児童の学校生活の様子を丁寧にお知らせできるように努めたいと思ひます。

つづく

